

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2013年10月 4日

「平成25年7～9月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－アベノミクス効果は徐々に波及－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたので報告します。詳細は別添資料をご覧ください。

1. 調査概要（調査 静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力 浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636 社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成25年9月1～6日

回収状況 回収数 607 社（回収率 95.4%）

2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

①平成25年7～9月期の業況について

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－14.0となった。平成25年6月の前回調査（－23.0）と比べて9.0ポイントの改善となった。今回、売上・受注が伸びているとのコメントも多いことから、当地域の企業においてもアベノミクス効果は徐々に波及しているとみられる。

②平成25年10～12月期の見通しについて

次期10～12月期では業況DIは1.5ポイント改善し－12.5となる見通し。現状よりも3ヵ月後を楽観的にみるのは3四半期連続。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	当期	来期見込み	
二輪車部品製造	55	-47.3	-25.5	-21.8	業況DIは21.8ポイントの改善、2四半期連続改善。売上額DIは5四半期ぶりプラスへ。
自動車部品製造	70	-23.2	-7.1	-5.7	業況DIは16.1ポイントの改善、3四半期連続改善。増産や受注増等のコメントが多くみられる。
機械部品製造	64	-21.0	-9.4	-15.6	業況DIは11.6ポイントの改善、2四半期連続改善。前回同様、原材料上昇のコメントが多くみられる。
楽器部品製造	17	-38.9	-41.2	-23.5	業況DIは2.3ポイントのやや悪化も、ほか主要指標は改善。
繊維製造	25	-12.0	-20.0	-20.0	業況DIは8.0ポイントの悪化。原材料価格DIは依然として高い。
卸売業	89	-24.1	-22.5	-11.2	業況DIは1.6ポイントのやや改善、3四半期連続改善。ただし価格競争激しいとのコメントが多くみられる。
小売業	68	-32.8	-27.9	-23.5	業況DIは4.9ポイントの改善、2四半期連続改善。高級品の販売が好調とのコメントもみられる。
建設業	72	-11.6	-2.8	-6.9	業況DIは8.8ポイントの改善。業況の水準は全産業中で2番目。公共・民間ともに順調とのコメントみられる。
不動産業	36	13.9	13.9	8.3	業況DIは前回と変わらず。業況の水準は全産業で最も高い。
飲食・宿泊・レジャー等	13	-38.5	-38.5	-61.5	業況DIは前回と変わらず。資金繰りDIは大きく悪化。

本件のお問い合わせ先

〒432-8036 浜松市中区東伊場 2-7-1 浜松商工会議所会館 9階 TEL053-452-1510

静岡県西部地域しんきん経済研究所 神谷